

AED到着後の手順



※AEDとは・・・自動体外式除細動器のことで、電源を入れると音声メッセージとディスプレイで手順を指示する器械です。

★AEDが到着したら・・・

1 AEDを傷病者の頭の近くに置く

- AEDを倒れている人の頭の近くに置くと操作がしやすくなります。
- ケースを開けて、AED本体を使用できるようにしてください。



2 AEDの電源を入れる

- AEDのふたを開け、電源を入れます。(ふたを開けると電源が自動的に入る機種もあります。)
- 電源を入れたあとは、器械の音声メッセージとディスプレイの指示に従って操作を進めていきます。



※電極パッドを貼るときでも、なるべく胸骨圧迫を中断しないようにしてください！

3 電極パッドを貼る

- 倒れている人の衣服を取り除き、胸部を裸にします。
- 電極パッドを開封し、シールをはがし、イラストに従って、**肌**に**直接**しっかりと貼ります。電極パッドは、**胸の右上**(鎖骨の下)および**左下側**(脇下の5～8cm下)の位置です。

※成人用と小児用の2種類の電極パッドが入っている場合があります。

※小学生以上の傷病者には成人用の電極パッドを使用し、小児用は使用しないでください。小学校に入るまでの小児(※未就学児おおよそ=6才まで)には、小児用の電極パッドがあればこちらを使用します。

小児用のものがなければ成人用を使用します。

※もし、倒れている人の胸が汗や水で濡れている場合は、タオルなどでふき取ってから電極パッドを貼ってください。

4 心電図の解析をする

- 電極パッドを胸にしっかり貼り付けると、「体から離れてください」というメッセージが流れますので、まわりを確認し**誰も倒れている人に触れていないかを確認**します。
- AEDは、このとき心電図を解析して(電気ショックが必要かどうか調べて)います。

5 除細動(電気ショック)と心肺蘇生の再開

- AEDが電気ショックの必要があると判断すると、「ショックが必要です」等のメッセージが流れ、自動的に充電を開始します。充電には数秒かかります。
- 充電が完了しますと、「通電ボタンを押してください」等のメッセージが流れますので、倒れている人に触れている人がいないかどうか確認をして、**安全を確認後、ショックボタンを押してください**。
- 電気ショックのあとは、**ただちに胸骨圧迫**から心肺蘇生を再開します。
- AEDのメッセージが「ショックは不要です」の場合は、**ただちに胸骨圧迫**から心肺蘇生を再開します。

※AEDは2分おきに自動的に心電図解析を始めます。そのつど、「体から離れてください」等のメッセージが流れます。周囲の人に声をかけ、安全を確認してください。以後、同様に心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。

※救急隊がそばに来て、引き継ぐまでは傷病者が回復しても**電極パッドをはがさず**に、**AEDの電源も入れたまま**にしておきます。AEDから音声メッセージがあったときには、それに従ってください。